

20th Anniversary

2003-2022

#Programming #App_Development #Computer_Graphics

イラスト:パソコン甲子園2021いちまいの絵CG部門入選者
東邦高等学校 長谷川 綾さん 「creat」



に・ぜ・る・に・に

パソコン甲子園2022

— 第20回全国高等学校パソコンコンクール —

20周年記念大会 参加者募集!! 今年のテーマは「温故知新」
(モバイル部門・いちまいの絵CG部門)

参加資格 ● 高等学校及び高等専門学校等の3年生まで
※学校を通じて応募してください。
詳しくは公式webサイトでご確認ください。

プログラミング部門・モバイル部門
グランプリ受賞チーム 奨学金 30万円
(福島県知事賞) その他各賞に副賞もあり!



競技部門・参加スケジュール 日本で最初のコンピュータ理工学専門の大学、会津大学を舞台にICT技術の全国大会を今年も開催!!			
プログラミング部門 (1チーム2人) チーム戦の競技プログラミング	参加申込み (予選エントリー) 7/1(金)~8/5(金)	予選 @オンライン 9/10(土)	予選結果 本選出場チーム発表 9/26(月)
モバイル部門 (1チーム3人まで) アプリの企画・開発の総合的なプロデュース力を審査	参加申込み (企画書提出) 5/6(金)~7/1(金)	書類審査 本選出場チーム発表 7/25(月)	企画書に基づくアプリ開発プレゼンテーション/デモンストレーション準備
いちまいの絵CG部門 (1人1作品) テーマに基づくCGイラストのコンペ <small>※海外からの優れた作品と競い合う「高校生国際部門」も同時開催</small>	参加申込み (作品応募受付) 5/6(金)~9/2(金)	イラストアプリ CLIP STUDIO PAINT DEBUT を無償で事前進呈!	入賞作品発表 10/17(月)

主催/会津大学、福島県、全国高等学校パソコンコンクール実行委員会 共催/全国高等学校長協会、会津若松市、福島県教育委員会

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により記載内容が変更となる場合があります。最新情報はパソコン甲子園公式Webサイトをご確認ください。

お問い合わせ先

全国高等学校パソコンコンクール実行委員会事務局
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 会津大学内

TEL:0242-37-2532 FAX:0242-37-2546
メールアドレス:pc-proj@u-aizu.ac.jp
公式webサイト:https://u-aizu.ac.jp/pc-concours/





-公式Webサイト-

1.趣旨

全国の高校生及び高等専門学校生等が、情報処理技術における優れたアイデアと表現力、プログラミング能力等を競い合うことにより、生徒自身のスキルアップを図るとともに、情報化社会を支える人材の裾野を広げることを目的として開催します。

2.概要

「プログラミング部門」「モバイル部門」「いちまいの絵CG部門」の3部門において参加者を募集します。各部門の詳細については、パソコン甲子園公式Webサイトから競技要項をダウンロードしてご確認ください。

●プログラミング部門(本選出場36チーム)(予定)

- ①チーム編成 / 1チーム2名(同じ学校の生徒)
- ②参加申込方法 / 専用URLにアクセスして申し込む
- ③予選 / 競技会場は競技者が在籍する学校等(オンラインにて実施)
制限時間内に難易度の異なる問題の解答プログラムを作成し、所定のWebサイトより提出する。
- ④本選 / 予選の結果から選ばれたチームが、制限時間内に難易度の異なる問題の解答プログラムを作成し、所定のWebサイトより提出する。(会津大学にて実施)

●モバイル部門(本選出場10チーム)(予定)

- ①チーム編成 / 1チーム3名以内(同じ学校の生徒)
- ②応募方法 / テーマ「温故知新」に基づき、Android搭載のスマートフォンに対応した“夢のある”アプリの企画書を作成し、参加申込兼企画送付書とともに提出する。
- ③予選 / 応募があった企画書の内容を「企画力」「インパクト」「実現可能性」「実用性」について審査し、本選出場チームを決定する。
- ④本選 / 各チームによるプレゼンテーションとデモンストレーションで、アプリの企画・開発における総合的なプロデュース力を審査する。(会津大学にて実施)

●いちまいの絵CG部門

- ①チーム編成 / 個人参加
- ②応募方法 / テーマ「温故知新」に基づき、1枚のCG(コンピュータグラフィック)を制作し、作品の電子データとカラー印刷(A4サイズ)を必要書類を添えて提出する。
- ③審査基準 / 「独創性」「インパクト」「技術力」「テーマを生かし切れているか」の4項目に重点を置き、表現力や芸術性等を総合的に審査する。
- ④その他 / アジアの高校生クリエイターたちが競い合う「パソコン甲子園高校生国際部門」へも、別作品で応募可能。

いちまいの絵CG部門 応募の皆様へ

作品制作に、定番イラストアプリCLIP STUDIO PAINT DEBUTを無償で事前進呈いたします。



3.参加資格

2022年度において、高等学校及び高等専門学校の3年生まで、並びにこれらと同等と認められる学校の者

4.各賞及び副賞

- 【プログラミング部門】
- グランプリ(福島県知事賞).....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として30万円)
 - 準グランプリ(実行委員会会長賞).....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として20万円)
 - 第3位(実行委員会会長賞).....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として10万円)
 - 第4位～第8位.....各1チーム
賞状及び副賞
 - 審査委員特別賞.....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として5万円)
 - 新人賞.....該当チーム
賞状、楯、メダル及び副賞
- 【モバイル部門】
- グランプリ(福島県知事賞).....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として30万円)
 - ベストアイデア賞.....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として10万円)
 - ベストデザイン賞.....1チーム
賞状、楯、メダル及び副賞(奨学金として10万円)
- 【いちまいの絵CG部門】
- 優秀賞.....3点程度
賞状及び副賞(奨学金として3万円)
 - 3DCG賞.....1点程度
賞状及び副賞
 - 佳作.....15点程度
賞状及び副賞

5.参加申込受付期間

- プログラミング部門
2022年7月1日(金)～8月5日(金)
- モバイル部門
テーマ「温故知新」
2022年5月6日(金)～7月1日(金)
- いちまいの絵CG部門
テーマ「温故知新」
2022年5月6日(金)～9月2日(金)【消印有効】

6.プログラミング部門予選開催日

2022年9月10日(土)

7.本選出場チーム及び 入選作品の発表日

- プログラミング部門
2022年9月26日(月)
- モバイル部門
2022年7月25日(月)
- いちまいの絵CG部門
2022年10月17日(月)

※パソコン甲子園公式Webサイトに掲載するほか、本戦に出場する各チームに対し通知書を送付します。

8.本選

- 日 程 2022年11月5日(土)、6日(日)
- 会 場 会津大学(福島県会津若松市)
- 参加費用 選手及び引率者1名分について、宿泊費及び交通費を主催者が負担します。
- 参加者負担 選手及び引率者より、福島県外チームから1人10,000円、福島県内チームから1人5,000円をご負担いただきます。

9.審査委員(敬称略)

- | | |
|-------|---|
| 寛 捷彦 | 早稲田大学名誉教授 東京通信大学名誉教授
公益財団法人情報科学国際交流財団理事長
一般社団法人情報オリンピック日本委員会
理事長
U-22プログラミング・コンテスト審査委員長 |
| 山口 文彦 | 長崎県立大学教授 |
| 林 信行 | テクノロジージャーナリスト・コンサルタント
James Dyson財団理事
金沢美術工芸大学客員教授
グッドデザイン賞審査員 |
| 及川 卓也 | Tably株式会社 Technology Enabler |
| 高橋 延昌 | 会津大学短期大学部 産業情報学科 准教授 |
| 北本 雅久 | 会津大学短期大学部 産業情報学科 講師
グラフィックデザイナー |

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により記載内容が変更となる場合があります。最新情報はパソコン甲子園公式Webサイトをご確認ください。

主催 / 会津大学、福島県、全国高等学校パソコンコンクール実行委員会 共催 / 全国高等学校長協会、会津若松市、福島県教育委員会
後援 / 文部科学省、総務省、経済産業省、デジタル庁、公益財団法人全国商業高等学校協会、公益社団法人全国工業高等学校長協会、日本私立中学高等学校連合会、独立行政法人国立高等専門学校機構、一般社団法人福島県情報産業協会、特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー 共働機構、特定非営利活動法人会津NPOセンター、一般社団法人情報オリンピック日本委員会、特定非営利活動法人日本Androidの会、会津若松ワシントンホテル、ふくしまFM、テレビユー福島、日経ソフトウェア、日経Linux、NTT東日本 福島支店、株式会社福島銀行、福島中央テレビ、福島テレビ、福島放送、ラジオ福島、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会、株式会社東邦銀行、NHK福島放送局、福島民放送局、福島民友新聞社、独立行政法人情報処理推進機構、国立研究開発法人情報通信研究機構、一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会
協賛(五十音順) / 株式会社アイヴィス、株式会社IHI、一般社団法人AiCTコンソーシアム、株式会社アイグローブ、株式会社アイザック、株式会社会津コンピュータサイエンス研究所、株式会社Eyes、JAPAN、株式会社会津セネラルホールディングス、公益財団法人会津地域教育・学術振興財団、会津中央乳業株式会社、会津元宝醸造株式会社、会津よつば農業協同組合、株式会社会津ラボ、株式会社アクティブ・ワーク、有限会社アジア電気、株式会社[A HotDocument]、株式会社イクシム、株式会社IMAGICA GROUP、岩通マニファクチャリング株式会社、株式会社ウェブレッジ、株式会社エヌ・エス・シー、株式会社NTTデータNJ、株式会社FSKパブリック、株式会社エフコム、エンカレッジ・テクノロジー株式会社、株式会社河京、株式会社かんの屋、株式会社北日本金型工業、グレースシティ株式会社、株式会社グローバルネットコア、株式会社コーガ解析コンサルティング、株式会社サードウェア、株式会社GClue、CCCマーケティング株式会社、株式会社シグマ、常磐興産株式会社スバリゾートハワイアンズ、株式会社シンク、セイコーエプソン株式会社、セビオ株式会社、株式会社セルシス、株式会社ソニックス、玉川エンジニアリング株式会社、株式会社太郎館、株式会社ティーピーケー・システムエンジニアリング、株式会社デザインコム、凸版印刷株式会社、株式会社ドワンゴ、株式会社ナディア、株式会社日本アドシス、ネットワークシステムズ株式会社、株式会社はてな、原産、今昔亭、ハンパージャパン株式会社、合同会社ピーシーアシストAIZU、株式会社東日本計算センター、株式会社福島県中央計算センター、福島コンピュータシステム株式会社、株式会社福島情報処理センター、株式会社ボンデジタル、株式会社マイクロアーツ、株式会社マコト精機、三菱マテリアル株式会社若松製作所、株式会社マンノチカラ、ムネカタ株式会社、株式会社メカテック、山本商事株式会社、株式会社リオン・ドル コーポレーション、若松ガス株式会社、株式会社ワコム